

KB-NVRシリーズ 簡易取扱説明書



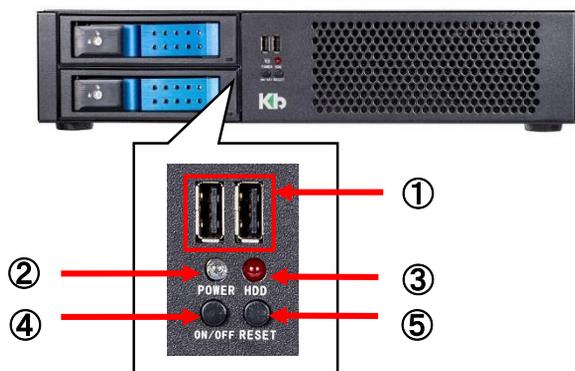
【はじめに】

本製品は、マウスでの操作が可能です。

USB端子にマウスを接続することで操作が可能となります。

録画映像の検索・再生やバックアップなど、マウスでの操作をお勧めします。

【本機の基本構成】



① USB端子

マウスやUSBメモリを差し込みます。
前面に2ポート / 後面に4ポートあります。

② POWER ランプ

本製品の電源がONの間、青く点灯します。

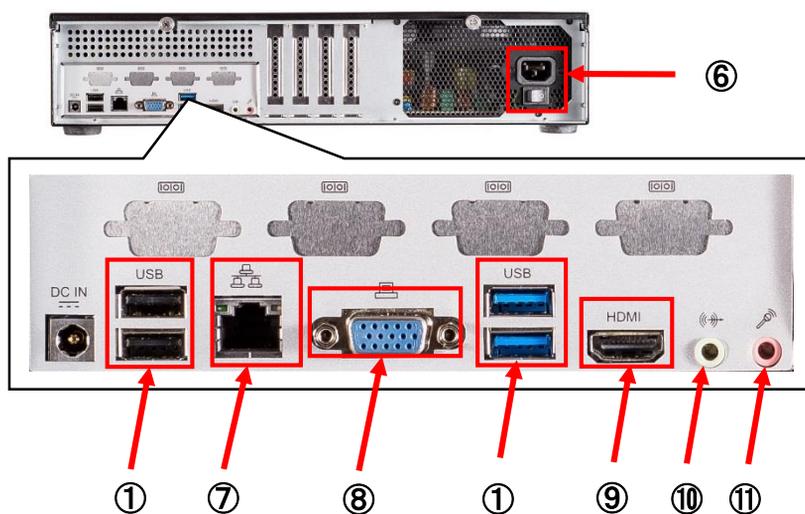
③ HDD ランプ

HDDへ記録中、赤く点滅します。

④ ON / OFFボタン

⑤ RESETボタン

使用できません。



⑥ AC100V挿し込み口

電源入力端子です。
付属のACアダプターを接続します。

⑧ VGA端子

映像出力端子です。

⑩ AUDIO OUT端子

音声出力端子です。
スピーカーなどを接続します。

⑦ LAN端子

IPカメラやPoEハブに接続します。

⑨ HDMI端子

映像出力端子です。

⑪ AUDIO IN端子

音声入力端子です。

Full HD対応モニターに接続します。マイクなどを接続します。





【ログイン】

本機の起動完了後、初めてログインする場合は、パスワードを設定する必要があります。

ログイン画面表示後、パスワード / パスワード(再入力)に入力して「**設定**」をクリックしてください。

※ 不正アクセス防止のため、パスワードは定期的に変更することをお勧めします。

また、パスワードはメモを取るなどをして紛失ないように管理してください。

2回目以降のログイン時には、新しく設定したパスワードを入力し、ログインしてください。

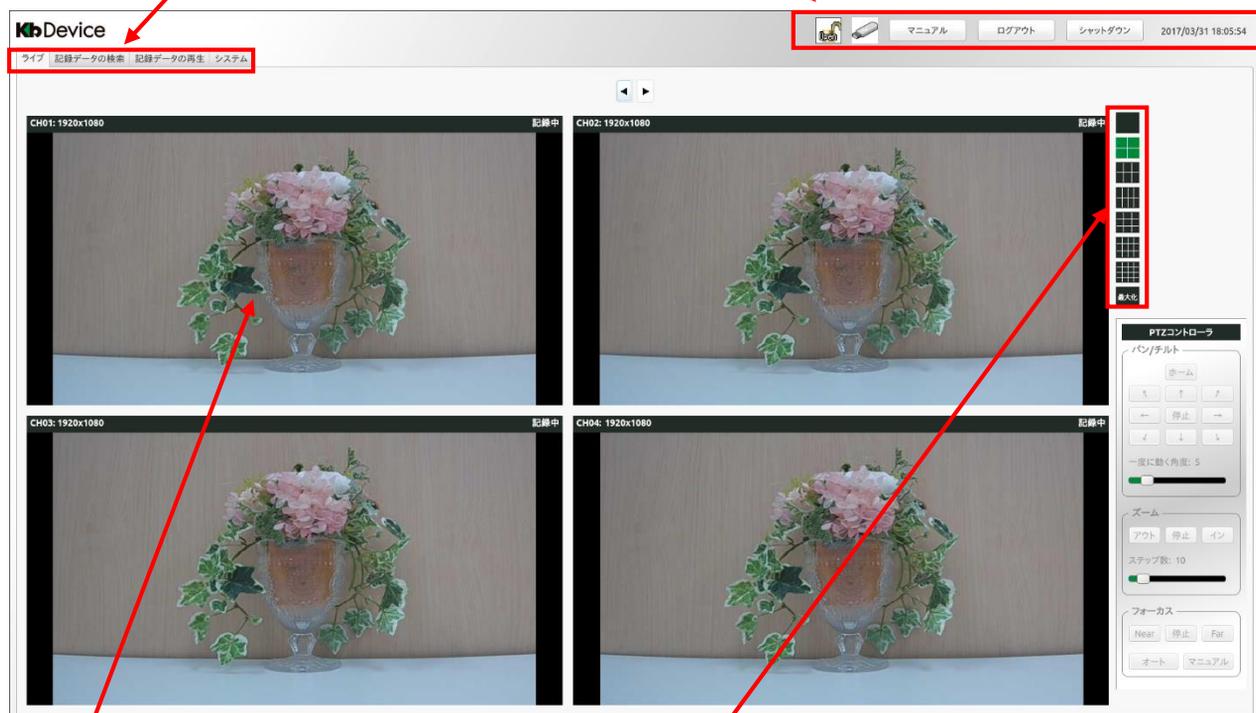
【ライブ画面】

各種設定タブ

本製品の各種設定ができます。各タブでの操作については取扱説明書をご覧ください。

各種操作アイコン

画面ロック / デバイス取り外し / ログアウト / シャットダウン / 現在時刻



表示ウィンドウ

カメラからの映像を表示します。ウィンドウ内には、カメラCH、カメラタイトル、解像度、記録状態が表示されます。

画面分割アイコン

ライブ画面の分割表示数を変更できます。

最大化アイコン

表示ウィンドウの表示サイズを変更できます。最大化中にウィンドウをダブルクリックするともとのライブ画面に戻ります。





【画面ロック】

ロック機能を有効にすることで、操作に制限をかけることができます。

第三者による不正アクセス防止の為、画面から離れる際はロック機能を有効にすることをお勧めします。



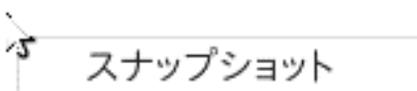
ライブ画面右上のアイコンをクリックすることで、有効 / 無効を切り替えることができます。
画面ロック機能を解除する際は、ログイン時のパスワードを入力する必要があります。

【スナップショット】

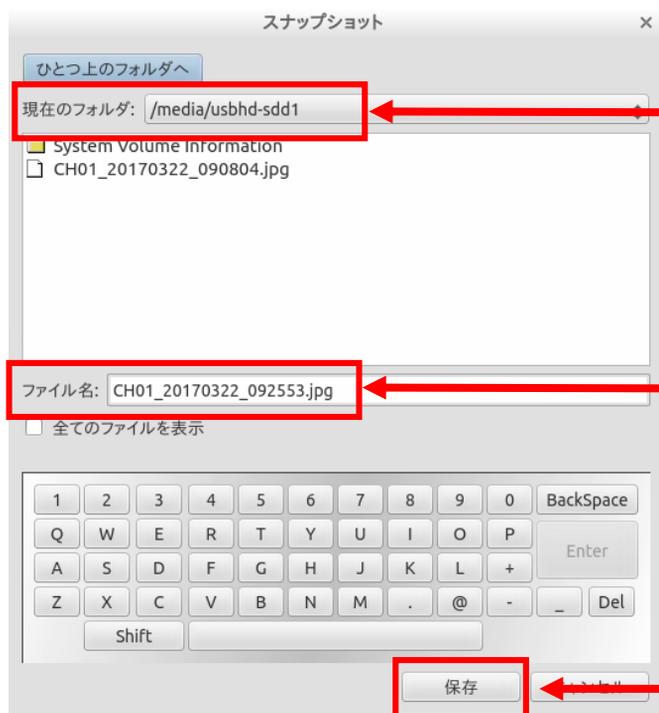
ライブ画面にて、各表示ウィンドウの静止画をUSBメモリーに保存することができます。

スナップショットを行う場合は、あらかじめ本製品にUSBメモリーを接続した状態で行ってください。

任意の表示ウィンドウ上で右クリックし、「スナップショット」をクリックします。



クリック後、静止画の保存先とファイル名を設定します。



保存場所を設定します。

保存するファイル名を設定します。

設定後、「保存」をクリックし、設定内容を保存します。





【カメラ登録】

以下の手順で本製品にIPカメラを登録することができます。

登録したカメラは、ライブ画面で映像を確認することができます。

① 「システム」タブ > 「IPカメラの設定」の順にクリックします。



② 画面右下の「追加」をクリックします。



③ 以下の項目に登録するカメラ情報を設定します。

チャンネル	カメラ名称	メーカー / 機種	IPアドレス	アクセス		ライブ			記録			詳細	
				ユーザID	パスワード	表示	ストリーム番号	画像サイズ	フレームレート	ストリーム番号	画像サイズ		フレームレート
CH01		KbDevice / LC	192.168.0.205	admin	ADMIN1234	する	1	1280x720	10	1	1280x720	5	設定

※登録するカメラによっては、設定できない項目があります。

- カメラ名称：ライブ画面上で表示するカメラタイトルを設定します。
- メーカー/機種：登録するカメラのメーカー名と機種を設定します。
- IPアドレス：登録するカメラのIPアドレスを設定します。
- アクセス：登録するカメラへアクセスするためのユーザIDとパスワードを設定します。
- ライブ / 表示：ライブ画面上でカメラ映像を 表示 / 非表示 を設定します。
- ライブ / ストリーム番号：ライブ表示時のストリーム参照先を設定します。
- ライブ / 画像サイズ：ライブ画面での表示解像度を設定します。
- ライブ / フレームレート：ライブ画面でのフレームレートを設定します。
- 記録 / ストリーム番号：記録時のストリーム参照先を設定します。
- 記録 / 画像サイズ：記録時の解像度を設定します。
- 記録 / フレームレート：記録時のフレームレートを設定します。
- 詳細：登録するカメラ本体の設定ができます

④ 各種情報を設定後、「適用」をクリックします。



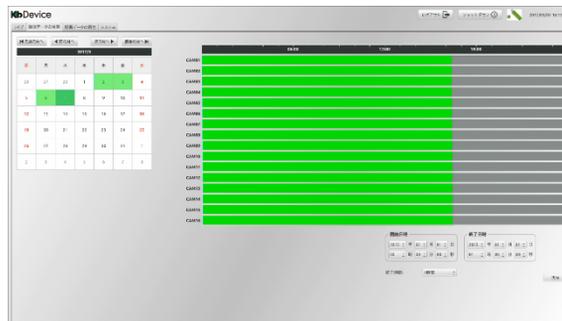


【 検索 】

以下の手順で録画した映像を検索・再生することができます。

- ① 画面左上の「録画データの検索」をクリックします。

サーチ画面に切り替わります。



- ② 画面左のカレンダー上で、録画映像のある年月日を確認します。

※ 録画映像のある日付は、緑色で表示されます。

先頭の月へ

保存期間の中で最も古い月へ移動します。

最後の月へ

保存期間の中で最も新しい月へ移動します。

Navigation buttons: ◀ 先頭の月へ, ◀ 前の月へ, 次の月へ ▶, ▶ 最後の月へ ▶

Calendar (March 2017):

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8

Annotations:

- 前の月へ 前月のへ移動します。
- 録画映像あり (points to date 6)
- 録画映像なし (points to date 10)
- 次の月へ 後月へ移動します。

- ③ 画面右下の「開始日時」「終了日時」に検索開始時刻と終了時刻を設定します。

開始日時

2015 年 01 月 01 日

00 時 00 分 00 秒

終了日時

2015 年 01 月 01 日

01 時 00 分 00 秒

- ④ 画面右下の「再生」をクリックします。

自動的に再生画面に移動します。

再生画面での操作については、【 再生 】をご覧ください。





【再生】

「記録データの検索」にて、映像の再生を開始すると、自動的に再生画面に移動します。



ビデオコントローラ
早送りや巻き戻しが
できます。

ダウンロード
手順については、
【ダウンロード】を
ご覧ください。

再生リスト
検索履歴を表示します。

【ビデオコントローラでの操作】



- ① 現在の動作を表示します。
- ② 再生中に30秒前の映像に巻き戻します。
- ③ 再生中に10秒前の映像に巻き戻します。
- ④ 正方向へ映像を再生します。 / 再生中に映像を一時停止します。
- ⑤ 再生中の映像を早送ります。(2倍→4倍→8倍)
- ⑥ 再生中に1分前の映像に巻き戻します。
- ⑦ 映像開始時点に巻き戻し、再生を再開します。
- ⑧ 再生中の映像を一時停止します。
- ⑨ 再生中に1分後の映像に早送りします。





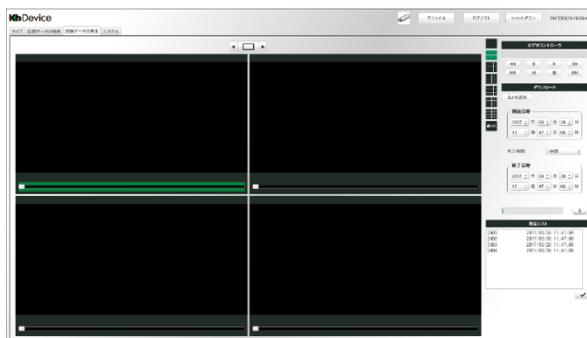
【記録データのダウンロード】

以下の手順で録画映像をUSBメモリーに保存することができます。
あらかじめUSBメモリーを接続した上でダウンロードを行ってください。

- ① 画面左上の「記録データの再生」をクリックします。

再生画面に切り替わります。

記録データの再生



- ② 「カメラ選択」にて、ダウンロードを行うカメラCHのボックスをクリックします。

カメラ選択



- ③ 「開始日時」および「終了日時」欄にダウンロード開始日時と終了日時を設定します。



- ④ ダウンロード開始アイコン  をクリックします。

- ⑤ ダウンロード完了のメッセージが表示されたら完了です。



ダウンロードした映像データは、クライアントPCにて「Windows Media Player」で再生できます。





保証書

お買い上げ年月日		販売店名
保証期間	商品お買い上げ後1年間	
会社名		
ご住所		
ご担当者		
電話番号		

※お願い:お買い上げ時に必ずご記入ください。
本書は大切に保存してください。再発行は致しません。

<保証規定>

取扱説明書に記載された正常な使用状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理致します。販売会社もしくは弊社へ本書を添えてお申し付けください。

<保証条件>

次に該当する故障は保証期間であっても実費にて修理を申し受けます。

- 誤った取扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障。
また故意・不注意による損傷に起因する故障。
- 災害など不可抗力による損傷。
- 本書上記項目に必要事項の記入がない場合。また本書の提示がない場合。

株式会社 ケービデバイス  <http://www.kbdevice.com/>  info@kbdevice.com

〒600-8086 京都市下京区松原通東洞院東入本燈籠町22番地2 Kbビル

TEL: **075-354-3372** FAX: **075-354-3382**

事業拠点: 京都本社、札幌、東京、名古屋、広島、福岡

Kbグループ

株式会社 ケービテクノサービス

株式会社 ケービソリューション



品質システム規格・環境システム規格

